

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和元年5月28日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者 住 所 愛知県安城市和泉町家下9-2 氏 名 株式会社 合同工業 代表取締役 柵木政美 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0566-92-1277	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	株式会社 合同工業
事 業 場 の 所 在 地	愛知県安城市和泉町家下9-2
計 画 期 間	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日
当該事業において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
② 事 業 の 規 模	元請完成工事高: 561,700,000 円
③ 従 業 員 数	17 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事:がれき類 → 再生処理業者に再生砕石として再資源化 廃プラスチック類 → 再生処理業者に委託して再生原料として再資源化 木くず → 再生処理業者に委託して燃料チップとして再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 工事部(産業廃棄物処理統括責任者) ↓ 工事責任者(産業廃棄物処理責任者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排 出 量	2925 t	3 t
	(これまでに実施した取組) 工法変更による削減		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排 出 量	2630 t	3 t
	(今後実施する予定の取組) 現場にあった工法を提案し、産業廃棄物の搬出を抑制する。 ※工事の受注により変動する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラスチック類は、それぞれに分別し、所定の中間処理業者に委託する。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		

(第2面)別紙

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) ※(第2面)と同じ			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	排 出 量	6.8 t	7 t
	(これまでに実施した取組) 工法変更による削減		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	排 出 量	6 t	6 t
	(今後実施する予定の取組) 現場にあった工法を提案し、産業廃棄物の搬出を抑制する。 ※工事の受注により変動する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※(第2面)と同じ		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※(第2面)と同じ		

(第2面)別紙

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
※(第2面)と同じ			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	混合物
	排 出 量	2.2 t	28.5 t
	(これまでに実施した取組) 工法変更による削減		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	混合物
	排 出 量	2 t	26 t
	(今後実施する予定の取組) 現場にあった工法を提案し、産業廃棄物の搬出を抑制する。 ※工事の受注により変動する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※(第2面)と同じ		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※(第2面)と同じ		

(第2面)別紙

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) ※(第2面)と同じ			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	—
	排 出 量	0.01 t	— t
	(これまでに実施した取組) 工法変更による削減		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	—
	排 出 量	0 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 現場にあった工法を提案し、産業廃棄物の搬出を抑制する。 ※工事の受注により変動する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※(第2面)と同じ		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ※(第2面)と同じ		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 自社発生 of 産業廃棄物は、すべて委託業者に処理を委託している。		
② 計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 特に実施していない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	2925 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	2925 t	3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。		

(第4面)別紙

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ※(第4面)と同じ		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ※(第4面)と同じ		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	全処理委託量	6.8 t	7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	6.8 t	7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ※(第4面)と同じ		

(第4面)別紙

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ※(第4面)と同じ		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ※(第4面)と同じ		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	混合物
	全処理委託量	2.2 t	28.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	2.2 t	28.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ※(第4面)と同じ		

(第4面)別紙

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ※(第4面)と同じ		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ※(第4面)と同じ		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(平成 30 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	—
	全処理委託量	0.01 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	0.01 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ※(第4面)と同じ		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	2630 t	3 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	2630 t	3 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 委託先処理業者には、定期的の実施確認を実施する。		
※事務処理欄			

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥
	全処理委託量	6 t	6 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	6 t	6 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 委託先処理業者には、定期的の実施確認を実施する。		
※事務処理欄			

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	混合物
	全処理委託量	2 t	26 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	2 t	26 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 委託先処理業者には、定期的の実施確認を実施する。		
※事務処理欄			

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	—
	全処理委託量	0 t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 委託先処理業者には、定期的の実施確認を実施する。		
※事務処理欄			